



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

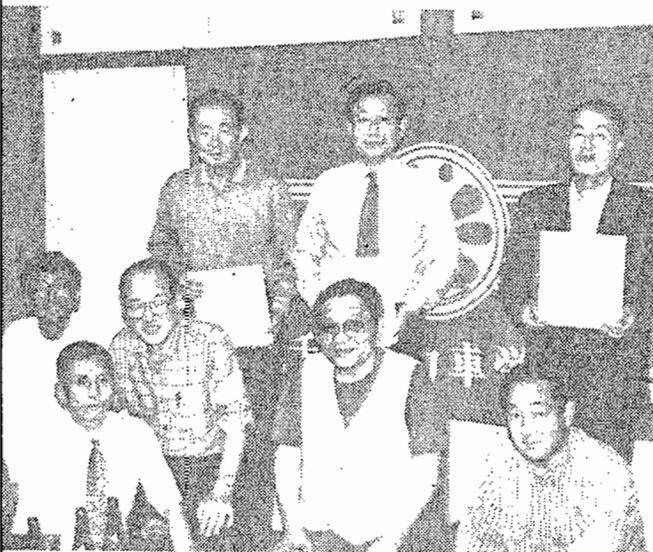
97.6.27 No.4617

出向者協議会総会開催

新役員体制を確立

第六回出向者協議会総会は、六月一日、一八時より、本部・動力車会館で開催されました。

井口委員(千葉転支部)を議長に選出し、中村事務長(幕張支部)から、「開催予定の四月から大きくズレ込んだ開催となってしまう申し訳ないが、関会長(新小岩支部)が病気で長期療養となつてしまったため止むを得なかった。会長からは皆さんに宜しくとの伝言がありますのでお知らせしておきます。高齢化社会へ突入するなかで、出向者協議会の意義はますますハッキリとされています。本委員会で新役員体制を確立し、活発な活動をしていこう」とのあいさ



▲懇親会で記念の色紙を手渡された退職者

左から武井さん、加藤さん、山中さん(新小岩支部)

つが行われた。続いて、中野委員長からの挨拶、活動方針(案)提起、質疑応答のあと、新役員を選出した。

その後、出席者全員が参加する懇親会に移行、昨年度で「六〇才定年」となった

加藤 幸一(新小岩支部)、山中 幸太郎(新小岩支部)、武井 明道(新小岩支部・前会長)、の三氏に、記念の寄せ書きをした色紙が中村事務長から手渡された。

また、病気療養中の関会長へ激励の色紙を贈ることが提起され、参加者全員が励ましの言葉が寄せ書きされた。

和気あいあいの話が尽きぬなかで、「またみんなが集まろう」と確認し、二二時、散会となった。

△新役員▽

- 会長 中村 武夫(幕張)
- 事務長 井口 進(幕張)
- 委員 井口 禎司(千葉転)
- 関 弘明(木更津)
- 小野 泰治(新小岩)

勝利！確信固め一大反転攻勢へ！

七・一二労働者集会に集まろう！

二八名の解雇撤回！

勝利の地平にたちよる！

中曽根元首相は、最近の雑誌「アエラ」で「分割・民営化は、国鉄労働運動をつぶすためにやった」とぬけぬけと言いつついる。その手先となつて、悪逆非道の限りをつくしてきたのがJR総連革マルだ。首切りや二〇〇名をこえる仲間を自殺に追いやり、一〇四七名の清算事業団の仲間を塗炭の苦しみに追いやり、今なお労働千葉、国労つぶしにのみ自らの延命をかけているJR総連革マル！彼らとの決着をつける闘いはいよいよ本番を迎えている。

団結を守りぬいたわれわれの闘いはついに敵を追いつめ、二八名全員の解雇撤回をかちとり、分割・民営化体制の根幹を揺るがす大きな勝利をかちとつた。情勢や「風向き」がどんなに不利だろうとも原則に立って、仲間を信じ闘い続けるなら、必ず勝利の道は切り開かれることを立証した。このインパクトは、国労闘争団を勇気づけ、闘う多くの労働者の熱い魂に響き、「やればできる」「闘えば関係も変えられる」という気運を高めている。

今こそ、一大反転攻勢へ！好機をのがさず、国鉄闘争と安保・沖繩闘争を結合し、戦争と有事体制づくりに突き進もうとされている橋本政権打倒へ！

JR総連打倒へ！

危機のがけつぷぶちに立ち、アガキもがく革マルどもに怒りの反撃を叩きつけよう！われわれの怒りと団結力がどれだけ激しく固いのか、はつきりと示すときがきた。

七・一二労働者集会は、そのための号砲である。集会の成功をかちとろう！

正念場を迎えた国鉄闘争の勝利をめざす

7・13労働者集会

●正午労働スクエア東京 大ホール
(東京労働福祉会館)

●主催 労働千葉

【指定列車】
総武線 千葉8番線
(1066F) 10:46発 11:07着
京葉線 蘇我駅 11:07発
(1168A)